

間もなくです！

# 第12回 そげいのひなまつり

◆日時：令和8年2月28日(土)～3月3日(火)

いずれの日も 9:00～15:00まで公開

◆会場：大東曾慶地区センター ◆入場無料

◆主催：手まりの会／共催：曾慶市民センター

後援：曾慶のお宝伝承プロジェクト



今年で第12回目を迎える「そげいのひなまつり」が2月28日から3月3日にかけて曾慶地区センターを会場に開催されます。「そげいのひなまつり」は、規模は小さいながらも、手まりの会の皆さんが一針一針思いを込めて縫った吊るし雛や干支のぬいぐるみ等の作品は見応えがあり、地区内外からたくさんの方が鑑賞に訪れます。

「手まりの会」は農家のお母さんたちの農閑期の手仕事として手芸や



人形などを制作するために平成26年12月に発足した団体です。「そげいのひなまつり」では作りだめた作品を一堂に展示する機会となっており、12回目の今年は干支も一回りすることから、全ての干支が揃うことになります。ひなまつりの全日程、キッチンカーが出店するほか、28日には「音楽喫茶・結」も臨時開店、3月1日(日)にはビッグ・バンド「G・B Pop Jazz オーケストラ」の演奏会も楽しんでください。

※写真は昨年(2023年)のひなまつり



# そげっぱ通信

あなたと市民センターをつなぐ情報紙

2月

曾慶市民センター  
曾慶字神蔭32-1  
☎ 0191-75-2244  
FAX 0191-34-6630  
Email: info@yuin-et-sogei.com

◎文化祭でも大好評  
**大判焼き屋  
さん出店！**

かめちゃんキッチン  
はたご焼きを提供します



そげいのひなまつり協賛事業 ～ハートフル・コンサート～

## G・B Pop Jazz オーケストラ

■ 日時：3月1日(日) 14:00開演(13:30開場)

■ 入場無料・申し込み不要



◆主催：手まりの会 ◆共催：曾慶市民センター

今年で12回目を迎える「そげいのひなまつり」の協賛事業として、市内外で活躍するビッグ・バンド「G・B Pop Jazzオーケストラ」の演奏会を開催します。スタンダードジャズや懐かしい昭和歌謡、映画音楽やアニメソングなど多彩な選曲でお届けします。管楽器を中心とした大編成の迫力ある演奏をぜひみなさんお聴きください！

## 郷土料理を食べながら交流

2月1日、曾慶のお宝伝承プロジェクトの月例会と新年交流会が曾慶地区センターを会場に開催されました。この日は食生活改善推進員さんのご協力により、地域に伝わる郷土料理が提供されました。料理は3種類の「はっと(すいとん)」がメインで、人参、大根、ネギなどの野菜や油揚げなどを入れ醤油で味付けした伝統的なはっとの他、「小豆はっと」や「じゅうねはっと」も添えられ、会員たちは懐かしい味に舌鼓を打ちながら、昔話に花を咲かせていました。



はっとを食べながら昔話に花を咲かせる参加者

## スポーツ吹矢で健康づくり



25人が参加したスポーツウエルネス吹矢体験会

1月27日、曾慶地区センターを会場に曾慶地区福祉活動推進協議会主催によるスポーツウエルネス吹矢体験会が開催されました。吹矢は手軽に心肺機能や自律神経の改善ができるなど、健康への効果が注目されています。体験会では、定員を上回る25人が参加、日本スポーツウエルネス吹矢協会常務理事で師範の萩田進さんが講師を務めました。ほとんどの参加者が初めての体験でしたが、講師から競技の作法や呼吸のポイント等指導をいただき、すべての矢が的の中心的中し満点となった参加者もいました。第2回目の体験会は2月24日に開催されました。

## 大東高校だより

地域理解と進路探求が  
《10》深まった1月の活動



1月20日、1年生対象の佐藤善一関市長による講話があり、地域が誇る偉人や市の魅力、住みよいまちであることを再認識しました。22日の大東支所の出前講座でも、地域振興課の土屋さんからまちづくりの主体は一人一人であること、保健師の石川さんから保健師の役割や命を支える仕事であることを学びました。赤ちゃん人形を抱っこする体験もしました。

同日、2年生は市総合体育館開催の「未来さがしプロジェクト」に参加し、地元企業の説明を直接聞き、地域で働く意義を学びました。

27日、情報ビジネス科の課題研究発表会と模擬株式会社DjoB株主総会が27日に開催され、3年生が1年間の成果を発表したほか、DjoBの社長の交代が行われました。



## ちよこっと スナッフ



### \* 福寿草 \*

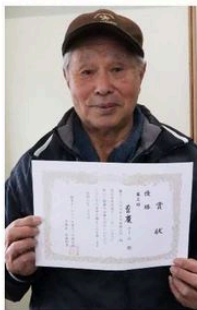
結いネットそげいのPR看板の傍らに今年も福寿草がたくさん開花しました。福寿草は、雪国に春一番を告げる草花の代表です。フキノトウと並び「春の使者」と呼ばれています。雪解けとともに鮮やかな黄金色の花を咲かせることから、昔から幸福と長寿を呼ぶめでたい花として愛されています。花は光を受けて大きく広がり、雨天時には閉じます。

## 大会の結果 《曾慶体協よりお知らせ》

- ◎2/1 第11回バドミントン大会の結果  
 小中高生と一般が参加し、3つのブロックでリーグ戦を行いました。
- 《Aブロック》▷1位 藤原等(3区)  
 ▷2位 泉好信(2区)▷3位 佐藤柊馬(2区)
  - 《Bブロック》▷1位 畠山花音(5区)  
 ▷2位 畠山奏汰(川)▷3位 足利正則(6区)
  - 《Cブロック》▷1位 岩淵優士(7区)  
 ▷2位 及川恵(4区)▷3位 足利健市郎(4区)



## GB 曾慶チームが優勝



2月8日に大原体育館を会場に開催された「令和7年度第3回一関市民冬季交流ゲートボール大会」に出場した曾慶チームが見事に優勝しました。代表の足利国美さんは「随時会員を募集しているので、ぜひ参加していただき、一緒に楽しくプレイしましょう」と話していました。

### 《3月の行事予定》

- 2月28(金)～3月3日(月) そげいのひなまつり
- 3月1日(日) ハートフル・コンサート  
 (GB Pop Jazzオーケストラ)
- 3月17日(火) 地域づくり講演会
- 3月21日(土) 音楽喫茶「結」
- 3月23日(月) 行政区長会議

## お矢のせ

《令和7年度地域づくり講演会》

## 「宝の山、宝の川」

～視点を変えれば、地域も人生も明るく拓く～

今回の地域づくり講演会は、摺沢出身でジャーナリスト、作家、漫画家として多方面で活躍をされてきた小野寺敬一さんです。久しぶりに訪れた故郷で見つけた河童井戸と河童伝説に触発され『河童の里プロジェクト(仮称)』を立ち上げるべく活動中です。

写真記者として日本各地、及び世界50カ国以上を巡って来た小野寺さんの目に映った故郷はとんでもない宝物でした…。小野寺さんの講演を聴いて、新たな視点で地域を見直すきっかけとしましょう。

- ◆日時：令和8年3月17日(火) 14:00～
- ◆入場：無料(予約も不要です)
- ◆主催：結いネットそげい

※ 詳細は別途配布しているチラシをご覧ください。



この所公小  
 ツの雑の園野  
 と木の方『を  
 続のと曾さん  
 けて伐慶目  
 て探慶指は  
 いを川し『遊  
 まを川沿こ歩  
 すツい近

## 音楽喫茶「結」 MusicCafeYui



3月の開店日は21日(土) 14:00～16:00です  
 ◎土曜日の午後のひととき、真空管アンプでレコード等を聴きながら語り合いませんか？  
 ※ホール西側の玄関よりお入りください。

## 農機バンク

\*農業機械“など”  
 ほしい人といらぬ人の情報交換コーナー\*



### 《売りたい》

◎溶接機(マイト工業) ◎金網製トレー(120×60×3cm) ◎ハロー(クボタ/HMT2010BKA/2M/24馬力に使用) ◎ハーベスター(クボタ) ◎エンジンポンプ(カトウポンプ) ◎種蒔き機(大豆・とうもろこし用) ◎井戸ポンプ(テラダポンプ) ◎管理機 ◎アルミレーキ(巾97cm/柄179cm) ◎芝刈り機(ナショナル) チェンソー(ヤンマー) ◎溝切機 ◎発電機(エアーマン) ◎エンジン除草機 ◎バインダー(ヤンマー) ◎ディーゼルエンジン(ヤンマー) ◎ハーベスター ◎籾摺機(サタケ) ◎スプレー・はさみ・熊手セット ◎丸ヤスリセット ◎ビニールパッカー ◎草刈機工具 ◎ツールボックス

### 《買いたい》

①小型トラクター 《写真入りの最新情報は市民センターで閲覧できます》

※ 金額は当事者同士で決めていただきますが、別途点検・整備代等がかかります(実費相当)。

# そげいびと

## ③1 原野 優(まさる)さん (61) ~曾慶字神蔭~



能登と一緒にボランティア活動をしているタレントのなすびさんと

助けられた命があったのでは…  
この思いから被災地へ通う日々

2年前の1月1日に発生した能登半島地震災害のボランティアに通っているという優さんにお話を伺いました。ボランティアを始めたきっかけは、東日本大震災が発生した際、当時大槌の小学校に勤務していた妻の悦子さんと釜石の鶏住居の小・中学校に通っていた2人の子供たちの安否を確かめるために現地に向かい、翌朝車も使えない状況から瓦礫の中を徒歩で彷徨った経験から。想像を超える現地の惨状から、生存は無理だろうと半ば諦めながらもやっと辿り着いた大槌の公民館で妻と再会、その後釜石で子どもたちの無事も確認しました。

15年経った今でも、「がれきの中を彷徨いながら聞いた家族を呼ぶ声や臭いなどは今でも鮮明に蘇る。自分は家族を探すことだけ考えていたが、道すがら助けられる命があったのでは」と

う思いが消えない」と話します。また「妻と子が被災した際、全国から多くの支援を受けた恩返し」とも。これが優さんを災害ボランティアへと突き動かす原動力となっているようです。

### 全国のボランティア仲間との ネットワーク通じ貢献したい

優さんは20代の頃、東京八王子のオートバイ店で店長を務めていました。そこで悦子さんとの出会いがありオートバイ2台で北海道から沖縄までの日本一周をしたこともあります。

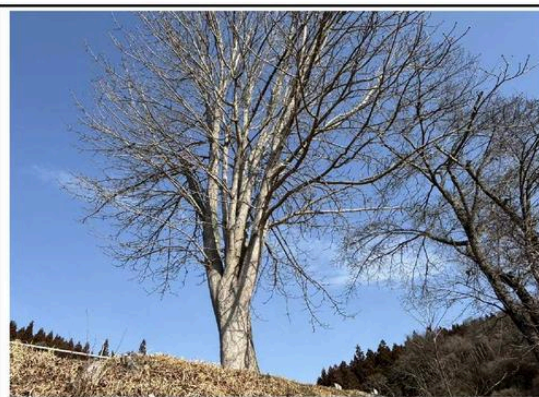
同店は平成3年で退職し帰郷。職業安定所で見つけた資源のリサイクル業を行っている「有日興薬品(現在のニッコーファインメック)」に入社してから33年、営業管理部で主に秋田県の医療機関を担当していました。昨年3月末で同社を定年退職し、現在は嘱託で週3日の勤務をしています。

長年各地で災害ボランティアを続けてきて全国に仲間もできました。大きな災害では、被災地の支援に格差を感じることも多く、今後については「全国から集まるボランティア仲間とのネットワークを活用して本当に必要な支援物資を届ける仕組みを作りたい。また、専門的・技術的な支援をするため、資格も取得したい」と意欲を見せます。曾慶地域については、「今まで以上にお互いに助け合う『共助』が必要では」と話していただきました。

## 曾慶の人口と世帯数

令和8年2月1日現在

行政区	世帯数	男	女	合計
1区	28	36	26	62
2区	68	86	85	171
3区	49	59	70	129
4区	48	65	71	136
5区	64	77	73	150
6区	41	57	57	114
7区	32	40	42	82
13区	32	42	36	78
こはぎ荘	49	21	28	49
合計	411	483	488	971
前月比	△1	0	△1	△1



## 曾慶百景

曾慶グラウンドのトチノキ

曾慶グラウンドの南端にそびえ立っているトチノキはいつ誰が植えたのか分かりません。現在の幹の直径は胸高で70cmほどですが、最大2mに、樹高は30mほどにもなることもあるそうです。昨年の秋には見事に黄葉し目を楽しませてくれました。また、秋には3~5cmほどの栗に似た大きな実を結び、縄文時代から食用としても重宝されてきました。花は蜜を多量に出し、ミツバチ等が集まる「蜜源」となるため、トチノキの開花に合わせて移動する養蜂家もいるほどです。